

## 第 84 回クラシックを楽しむ会

2024 年 2 月 25 日(日)18:00～( 2 時間 55 分)

タイトル : 歌劇「ロメオとジュリエット」(グノー)

会場等 : パリ・オペラ座 バスチーユ(フランス)

2023 年 6 月 23・26 日

楽団等 : パリ・オペラ座管弦楽団

合唱 : パリ・オペラ座合唱団

指揮 : カルロ・リッツィ

振付・演出: トマ・ジョリー

出演 : ジュリエット: エルザ・ドライシヒ

ロメオ: バンジャマン・ベルネーム 他



第 5 幕 ジュリエットが死んだとき墓所に駆け付けたロメオ

### 概要

原作はシェクスピアの戯曲「ロミオとジュリエット」。グノーのこの歌劇は「ファウスト」とともに人気の高い代表作である。ジュリエットが「私は夢に生きたい」と無邪気に春を謳歌する歌「ジュリエットのワルツ」は特に有名。アリア「恋よ、恋よ」は有名歌手に好んで歌われている。ストーリーはほぼ原作通りの 5 幕で、幕切れで二人が最後の口づけを交わす場面が異なる。

### 物語のストーリー

ルネサンス時代のイタリア・ベローナ。名門モンタギュー家の息子ロメオと宿敵キャピュレット家の娘ジュリエットとの悲恋の物語。もうすぐ 14 歳になる少女ジュリエットの燃えるような恋と、いきなり大人に成長する青春の情熱を描いたシェクスピアの傑作。

### 本公演について

演出は今仏演劇界で大人気のトマ・ジョリー。2024 年パリ・オリンピック開幕式の演出を担当する。現在大人気のソプラノ歌手エルザ・ドライシヒとフランスを代表するテノール歌手バンジャマン・ベルネーム出演の話題公演。

### 過去の上映記録

第 68 回(2019 年 8 月)バレエ「ロメオとジュリエット」(プロコフィエフ) 英国ロイヤル・オペラ・ハウス。高田茜、平野亮一出演



### 第 85 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル: 歌劇「椿姫」(ヴェルディ)

3 月 24 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

2005 年ザルツブルク音楽祭にネトレプコが登場し話題となった公演の再演。指揮はカルロ・リッツィ。

# あらすじ

## 【時と場所】

14世紀の北イタリアのヴェローナ

## 【登場人物】

### モンタギュー家

ロメオ :モンタギューのひとり息子で16歳。  
ベンヴォーリオ :ロメオの友人、モンタギューの甥、ロメオのいとこ

### キャピュレット家

ジュリエット :キャピュレットのひとり娘でもうすぐ14歳。  
ティボルト :キャピュレット夫人の甥、ジュリエットのいとこ  
ジュリエットの乳母

### その他

パリス伯爵 :ジュリエットの婚約者、ヴェローナ大公の親戚  
メルキューシオ :ロメオの友人、ヴェローナ大公の親戚  
ローランス神父 他

**プロローグ** 管弦楽で両家の憎しみと争いが描かれ、合唱でロメオとジュリエットの愛と悲劇が歌われる。

## 【第1幕】キャピュレット家の回廊

仮面舞踏会。当主キャピュレット卿がパリス伯爵との結婚を控えた娘ジュリエットを紹介し、皆はその美しさに魅了される。人々が散り、仮面を付けたモンタギュー家のロメオが友人たちと忍び込む。ロメオは友人たちの悪企みを制するが、友人メルキューシオは「マブ女王のバラード」を歌ってロメオをからかう。

ジュリエットが乳母と現れ、アリア「私は夢に生きたい」(ジュリエットのワルツ)を歌う。乳母が去り、ロメオが現れて話しかけ、2人は瞬時に恋に落ちる。従兄のティボルトがジュリエットを呼びにきたため、ロメオは彼女がキャピュレット家の娘であることを知って驚く。モンタギュー家のロメオであることを見抜いたティボルトは、仇敵に対して剣を抜くが、当主キャピュレットが現れてその場を諫め、ロメオは友人たちと逃れる。

## 【第2幕】ジュリエットの家の庭

夜に紛れてロメオはキャピュレット家の庭に忍び込みアリア「恋よ、恋」を歌う。ジュリエットがバルコニーに現れてロメオへの思いを告白する。それを聞いたロメオが現れて、二人は愛の二重唱を歌う。

## 【第3幕】

### 第1場 夜明け、ローランス神父の部屋

ロメオはローランス神父にジュリエットとの恋を打ち明ける。ジュリエットが乳母と忍んできて、二人は神父に結婚の許しを神に乞うよう願う。ローランス神父は、両家の憎しみが解消されるならと祝福を与える。

### 第2場 キャピュレット家の前の通り

ロメオの小姓が主人を探しに来て同家を押搦する。それに怒ったキャピュレット家の若者と、メルキューシオとの間で乱闘が始まり、これに乗じてティボルトも加勢して激しい決闘になる。駆けつけたロメオは2人を制止したが、ティボルトの剣がメルキューシオに刺さり、ロメオは剣を抜いてティボルトを倒す。そこにヴェローナ大公が現れて、皆を諫め、ロメオの追放を言い渡す。

## 【第4幕】ジュリエットの部屋、夜明け

ジュリエットは忍んできたロメオと幸福な愛の一夜を過ごす。夜が明け、父キャピュレット卿が神父と現れ、ジュリエットにパリス伯爵との結婚を言い渡す。神父は、絶望するジュリエットに、一日仮死状態になる薬を与える。ジュリエットは薬を飲み干してアリア「ああ、何という戦慄が」を歌う。

ジュリエットとパリス伯爵の結婚式。ジュリエットは突然倒れて息を引き取り、周囲は驚愕する。

## 【第5幕】キャピュレット家の墓所

ジュリエットが死んだと聞いたロメオは墓所に駆けつけ、絶望して毒薬を飲む。ところがジュリエットは薬が切れて目覚める。二人は再会の歓喜に震えるが、全身に毒がまわったロメオはジュリエットの腕の中に崩れ、ジュリエットは後を追う。

## 出演

**エルザ・ドライシヒ**(1991 - )はフランス・デンマークのオペラ・ソプラノ歌手。ベルリン国立歌劇場を拠点に、リリック・ソプラノのレパートリーのほか、バロック・オペラにも出演している。エクサンプロヴァンス音楽祭、ザルツブルク音楽祭などに出演、チューリッヒ歌劇場、オペラ座、ロイヤル・オペラなどに出演。コンサート歌手としてもサイモン・ラトルなど世界的な指揮者、西欧の主要オーケストラと共演を重ねている。



エルザ・ドライシヒ



バンジャマン・ベルネーム

**バンジャマン・ベルネーム**(1985 - )はフランスを代表するテノール歌手。パリ国立オペラ座、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、スカラ座、ロンドンのロイヤル・オペラ・ハウスなど、世界有数の歌劇場に常連客演し、ロマン派のレパートリーから主役のテノール役を演じるほか、フランスのレパートリーを得意としている。演奏と録音の両面で高い評価を得ている。

**カルロ・リッツィ**(1960 - )はイタリアの指揮者。2005年のザルツブルク音楽祭で急逝したマルチェロ・ヴィオッティに代わり、アンナ・ネトレプコ主演のヴェルディ「椿姫」を指揮し大成功を収めた。



カルロ・リッツィ

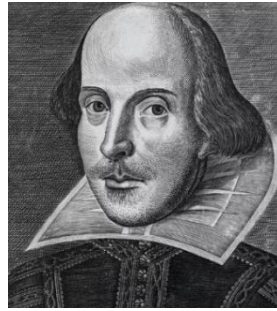


トマ・ジョリー

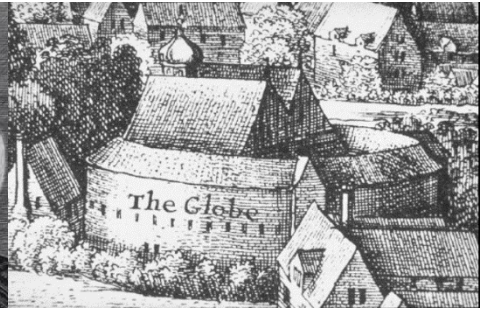
**トマ・ジョリー**(1982 - )はフランスの俳優、演劇・オペラ演出家。2020年パンデミックによるロックダウン中、自宅のバルコニーでロミオとジュリエットを演じた。2022年9月、フランス大統領から2024年パリ五輪開会式・閉会式の芸術監督に任命された。

## 原作者

**ウィリアム・シェイクスピア** (1564 - 1616) は、イングランドの劇作家、詩人。卓越した人間観察眼からなる内面の心理描写により、もっとも優れた英文学の作家である。イギリス・ルネサンス演劇(エリザベス朝演劇とも)を代表する劇作家である。ロンドン進出当初は俳優で、次第に脚本を手掛けるようになり座付劇作家になった。さらに宮内大臣一座の共同所有者になり、同劇団の本拠地**グローブ座**の共同株主にもなった。



シェイクスピア



2代目グローブ座(初代は火災で焼失)

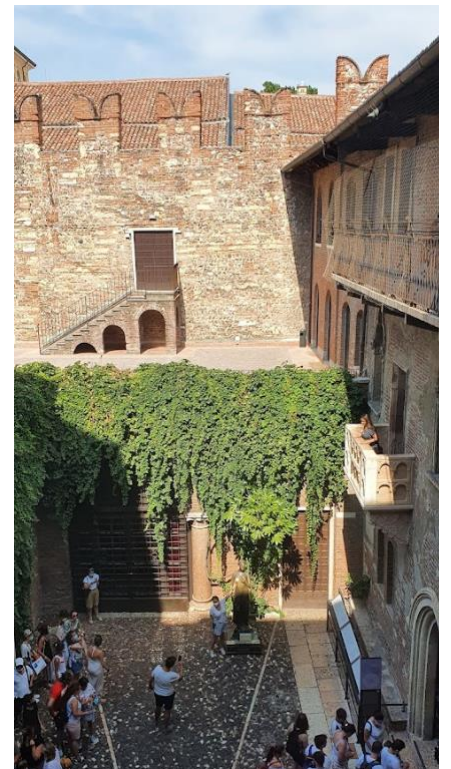
四大悲劇「ハムレット」「マクベス」「オセロ」「リア王」をはじめ、「ロミオとジュリエット」「ヴェニスの商人」「夏の夜の夢」「ジュリアス・シーザー」など多くの傑作を残した。

## 戯曲「ロミオとジュリエット」

原作の戯曲「ロミオとジュリエット」は1595年前後にロンドンで初演された。恋愛悲劇であるが、喜劇的に見える表現、ジャンルの境界を曖昧にするような表現が見受けられ、笑劇的でいくぶん粗野とも見えるような冗談、とくに性的な言葉遊びが非常に多く用いられている作品である(ウィキペディア)。

日本では文学作品としては英語由来の「ロミオ」表記が、クラシック音楽、バレエではイタリア語の「ロメオ」表記が用いられてきた。

シェイクスピアが『ロミオとジュリエット』を書くにあたって直接種本としたのは、アーサー・ブルックの物語詩「ロミウスとジュリエットの悲しい物語」(1562年、イギリス)と言われているが、この種本も原型となる種々の物語が存在する。その一つルイジ・ダ・ポルトが書いた物語(1530年、イタリア)では、ロメオが毒を仰いで死ぬ直前にジュリエッタが目を覚まし、抱きしめ合いながら言葉を交わすシーンがある。この場面について、グノーはシェイクスピア原作のもとになる物語を研究していたのかもしれない。



ジュリエットの家(イタリア・ヴェローナ)